

松尾 宇泰 氏

(東京大学大学院 情報理工学系研究科)



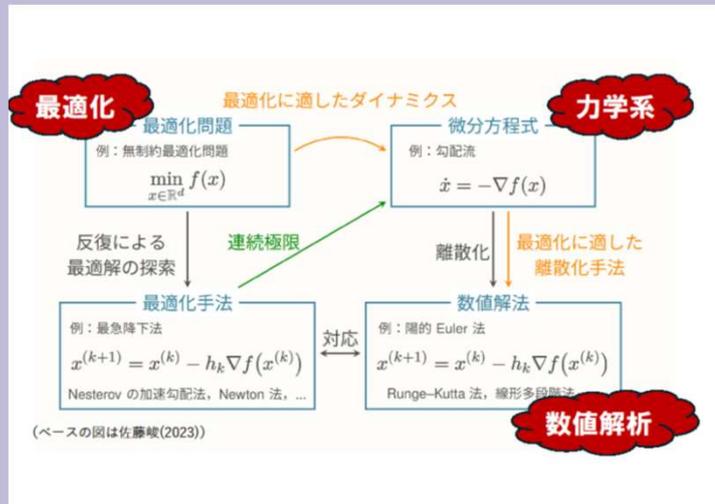
最適化・力学系・数値解析  
 ～連続最適化への数値解析学的アプローチ～

連続最適化手法と常微分方程式(力学系)の数値解析の間に緊密な関係があることは古くからよく知られている。

近年, Su-Boyd-Candes (2014NeurIPS) により, 高名な Nesterov の加速勾配法に対応する力学系の存在が指摘され,

この視点に基づく研究が再び脚光を浴びている。しかしながら, そこにおいては力学系(連続)は最適化手法(離散)に

一定の示唆を与えるのみで, 連続と離散の対応が十分議論され知見がフル活用されているとは言いがたい。本講演では, この描像に当然期待される数値解析学的な視座がもたらすものを, 講演者らの近年の結果を中心に紹介する。



↓参加登録はこちら↓



2月19日 (月) 17:00-18:30

武蔵野大学有明キャンパス, 4号館411教室, ハイブリッド開催

参加ご希望の方は, 右上のQRコードより参加登録をお願いいたします。

参加費無料 登録締切: 2/18 (日)

国際展示場駅 徒歩7分  
 東京ビッグサイト駅 徒歩6分



コーディネーター: 高石 武史 (武蔵野大学工学部数理工学科 教授)

問い合わせ先: 武蔵野大学数理工学センター

[https://www.musashino-u.ac.jp/research/laboratory/mathematical\\_engineering/](https://www.musashino-u.ac.jp/research/laboratory/mathematical_engineering/)

世界の幸せをカタチにする。  
 Leading Faculty, a path for the World

